

「ふしの日」制定

毎月24日は「ふしの日」
11月24日は「いいふしの日」



▲9月24日の「ふしの日」給食献立は「枕崎鰹船人めし」。たっぷりのかつお節をトッピングする。

9月13日、市内の水産加工業者や「さつま鰹節産地入札」に参加するため全国から集まった仲買人らを前に、枕崎駅で神園市長が毎月24日を「ふしの日」、11月24日を「いいふしの日」とする「ふしの日」制定宣言を行いました。

市では現在、枕崎の豊富な食材を活用した市民の取り組みと連動しながら、地域振興や観光資源開発を目的とした「食のまちづくり」を推進しています。その最初の取り組みが「ふしの日」であり、生産量、品質ともに日本一を自負する「枕崎鰹節」を活用した新製品開発やPR活動など様々な事業を展開し、本市のイメージアップにつなげていきます。



▲「ふしの日」制定宣言をする神園市長

小・中学校の学校給食に「枕崎鰹船人めし」をアレンジした献立が登場しました。

この日使われた削り節200パックは枕崎水産加工業協同組合（西村協組合長）から贈呈されたもので、各学校では同組合員及び関係者との交流給食が行われました。

枕崎小学校5年生の教室では、西村組合長が鰹節の製造法について説明を行い「日本一の枕崎鰹節を自慢してほしい」と話しました。児童らはたっぷりのかつお節をご飯の上にとッピングして一口食べることに「おいしい」と言いながら笑顔で頬張っていました。



第67回さつま鰹節産地入札即売会 威勢のいい掛け声に活気づく

さつま鰹節産地入札即売会が9月14日、枕崎水産加工業協同組合の入札会場で開催されました。市内の28社が出品し、全国から集まった49社90人の仲買人らが、コンペアーで運ばれてくる鰹節に次々と値を付けていきました。

衆議院鹿児島県第3区選出議員補欠選挙

わたしの一票 未来をひらく

【投票時間】午前7時～午後6時

※道野、真茅、下山、金山、木口屋、田布川の投票所は午後5時まで

問合せ 枕崎市明るい選挙推進協議会
枕崎市選挙管理委員会 TEL72-1111（内線310）

投票日当日に仕事や旅行、レジャーなど予定がある方は…

期日前投票をご利用ください

■期間 10月17日（水）～10月27日（土）

■時間 午前8時30分～午後8時

■場所 市役所北別館会議室



市民表彰

長年の功績に感謝し
2氏に市民表彰

平成24年度の枕崎市市民表彰受賞者として、産業経済部門において畑野勝男さん、教育文化部門において小湊香一さんが選ばれました。市制施行記念日である9月1日、授賞式が地場産業振興センターで行われ、多くの出席者が2人の長年の功績を労いました。

畑野勝男さん（76・立神本町）

及び保管事業の推進に努めてきました。

また、食の安全・安心及び衛生管理等に関し、研究と試験を推進し、生産工程及び管理対策の強化に努めるなど、長年にわたり産業経済の発展に貢献してきました。

小湊香一さん（75・塩屋北町）

昭和50年に立神相撲力士会会長に就任して以来、温厚な人柄と卓越した指導力で立神相撲を主宰してきました。

また、枕崎市相撲連盟会長も務め、各種大会の運営など連盟の活動を牽引してきました。また、36代木村庄之助（本名・山崎敏廣）の後援会幹事長を務めるなど、長年にわたり伝統行事の継承とスポーツ振興に貢献してきました。

防災訓練

大津波を想定し防災訓練

南海トラフで発生した地震による大津波を想定した市防災訓練が9月23日、枕崎地区で行われ、同地区住民や消防署、消防団、警察署、自主防災組織などから約700人の参加がありました。

始めに片平山公園、国光公園、遠見番緑地の3か所を一時避難場所として、防災無線からの大津波警報発令と避難

指示の放送に従い、枕崎地区沿岸の9公民館の住民が一斉避難の訓練を行いました。

その後、片平山公園では、自主防災組織、消防団などによる応急手当・消火訓練や、応急搬送訓練などが行われました。また、水槽車や救助工作車の資機材の展示などもあり、参加者は興味深く見学していました。

避難所・経路などは事前にチェックを

もしものときのため、家族が離れ離れになったときの安否確認の方法や集合場所などを決めておくください。また、避難場所や避難経路はあらかじめ確認しておくことが大切です。非常用持ち出し袋など防災グッズについても準備や点検など、備えを万全にしておくようお願いします。

■問合せ 総務課危機管理対策係 TEL72-1111（内線214）



前列左が畑野勝男さんと妻の晴子さん
前列右が小湊香一さんと妻の國子さん

また、枕崎市相撲連盟会長も務め、各種大会の運営など連盟の活動を牽引してきました。また、36代木村庄之助（本名・山崎敏廣）の後援会幹事長を務めるなど、長年にわたり伝統行事の継承とスポーツ振興に貢献してきました。



①高台に避難する参加者と誘導する消防団員 ②消防署員の指導のもと、負傷者の応急搬送訓練を行う消防団員 ③テントに次々と運ばれてくる患者に応急手当を行う消防署員 ④自主防災組織等による消火訓練